

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 101-8301
住 所 東京都千代田区神田駿河台1-1
氏 名 学校法人 明治大学
理事長 柳谷 孝 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 明治大学			
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1			
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者			
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者			
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者			
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者			
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）			
主たる事業 の種類	大分類	○	教育，学習支援業	
	中分類	81	学校教育	
主たる事業 の内容	教育・研究（大学）			
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		5,608 k l	
	☐ 自動車の台数		台	
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名		
		所在地		
	電話番号			
	FAX番号			
	メールアドレス			
※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成29年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当大学の環境への取組みについては、ホームページにて公表しています。 http://www.meiji.ac.jp/koho/academeprofile/activity/environmental/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 11,302 (調) 11,098 t-CO ₂	(実) 11,063 (調) 10,863 t-CO ₂	(実) 11,108 (調) 10,908 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂	(実) 11,189 (調) t-CO ₂
削減率		(実) 2.1 (調) 2.1 %	(実) 1.7 (調) 1.7 %	(実) (調) %	(実) 1.0 (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.08743	0.08557	0.08592		0.08655
削減率		2.1 %	1.7 %	%	1.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	平成28年度は前年度の温室効果ガス排出量実績を下回る事が出来た。 要因としては、下記の事項が挙げられる。 ・図書館書庫の空調設定温度を20℃から22℃に緩和（生田キャンパス） ・体育館、研究室、実験室の照明をLED化（生田キャンパス）
第2年度	平成29年度は基準年度の温室効果ガス排出量実績を下回る事が出来た。 要因としては、下記の事項が挙げられる。 ・特高受変電設備における高効率トランスの導入（生田キャンパス） ・図書館、第一校舎1号館1F階段、3号館外部、中央校舎2F、体育館外部照明をLED化（生田キャンパス）
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	○照明設備の運用管理 ○空調設備の運用管理 ○事務用機器の運用管理 ○空調設備の高効率化 ○照明設備の高効率化
	第1年度	○空調設備の高効率化 第一校舎3号館 ビルマルチエアコンの更新(生田キャンパス) ○照明設備の高効率化 体育施設天井照明のLED化(生田キャンパス) 研究室・実験室改修工事に伴い照明のLED化(生田キャンパス)
	第2年度	○照明設備の運用管理…不要時の消灯・昼光利用(黒川農場) ○空調設備の運用管理…空調設定における政府推奨値の勘案(黒川農場) ○事務用機器の運用管理…離席時のモニターOFF、帰宅時のシャットダウン(黒川農場) ○空調設備の高効率化…第一校舎3～5号館他ビルマルチエアコンの更新(生田キャンパス) ○照明設備の高効率化…図書館、第一校舎1号館1F階段他照明のLED化(生田キャンパス) ○需要実績に適した受変電設備の選定…特高電気室変圧器の更新(生田キャンパス)
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

（２）再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

空調設備の更新には、ヒートポンプ技術（大気熱利用）を利用した高効率機器の導入を優先的に検討する。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
太陽光発電システム	第二校舎A館 3.8kW、植物工場 5.0kW (生田キャンパス)	平成16, 22年度	導入済み
ヒートポンプ給湯器	中央校舎 加熱能力18kW (生田キャンパス)	平成21年度	導入済み
空冷ヒートポンプモジュールチラー	中央校舎 冷房能力680kW、加熱能力720kW (生田キャンパス)	平成22年度	導入済み
空冷ヒートポンプ氷蓄熱空調機	全9施設 総電気容量約800kW (生田キャンパス)	平成11～23年度	導入済み
空冷ヒートポンプモジュールチラー	第二校舎D館 冷房能力595kW、510kW 暖房能力630kW、540kW (生田キャンパス)	平成23年度	導入済み
空冷ヒートポンプパッケージエアコン	第一校舎6号館 冷房能力1,130kW 暖房能力1,267kW (生田キャンパス)	平成26年度	導入済み

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

[illegible]

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	特に無し
第1年度	特に無し
第2年度	特に無し
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	○紙使用量の抑制化を図る（裏紙の利用、文書の電子化） ○事務用品のグリーン購入を推進する ○廃棄物発生量の縮減化を図る（分別化、リサイクル） ○節水に取り組む（井水利用、擬音装置、実験冷却水循環化など） ○行政官庁の推進する共同取組みへ参加する（CC川崎エコ会議、ライトダウンキャンペーン等） ○省エネ展の開催による学生、一般職員への省エネ意識の啓発活動（年1回）
第1年度	○紙使用量の抑制化を図った（裏紙の利用、文書の電子化） ○事務用品のグリーン購入を推進した ○廃棄物発生量の縮減化を図った（分別化、リサイクル） ○節水に取り組んだ（井水利用、擬音装置、実験冷却水循環化など） ○行政官庁の推進する共同取組みへ参加した（CC川崎エコ会議、ライトダウンキャンペーン等） ○省エネ展の開催による学生、一般職員への省エネ意識の啓発活動の実施（年1回）
第2年度	○紙使用量の抑制化を図った（裏紙の利用、文書の電子化） ○事務用品のグリーン購入を推進した ○廃棄物発生量の縮減化を図った（分別化、リサイクル） ○節水に取り組んだ（井水利用、擬音装置、実験冷却水循環化など） ○行政官庁の推進する共同取組みへ参加した（CC川崎エコ会議、ライトダウンキャンペーン等） ○省エネ展の開催による学生、教職員への省エネ意識の啓発活動の実施（年1回）
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	10,838	t-CO ₂
(調)	10,581	

イ 第 3 号該当者等

(実)	t-CO ₂
(調)	

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
学校法人 明治大学 生田キャンパス	神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1	8161	学校教育	10,466 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	1
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--